

個人 SV 演習チェックリスト (CM 役用)

面接を振り返って SVr 役の行動について、チェックしてみましょう。

1. 面接の基本姿勢・倫理・態度

- 挨拶と自己紹介をした。
- 机の上は整理整頓されていた。
- SV の時間を最初に説明された。
- 決まった時間の最後まで話を聴き続けた。(面接を終わりにしなかった)
- 丁寧に話を聴こうとしてくれていると感じた。

2. 正しい反射

- あなたの考えに対して、SVr 自身の考えを押し付けられた感じはしなかった。
- 面接の前半ではアドバイスをされなかった。
- 話を遮られたり、話の腰を折られたりしなかった。
- SVr は自分の経験談を話さなかった。
- 安易に「よくわかります」「そうですね。」と同意されることはなかった。
- SVr はアドバイス・情報提供のあとに、必ずあなたの意向や意見を質問した。

3. かかわり行動

- あなたと適度に視線をあわせてくれた。
- 貧乏ゆすりや手遊びなどはなかった。
- 座る位置や姿勢は適切だった。
- メモを取りすぎていなかった。
- 話の腰を折られた感じはしなかった。

4. 基本的傾聴技法の連鎖

- 事例ではなく、あなたの悩みごとにとっても関心を持ってくれた。
- あなたの感情を明確にしてくれた。
- 面接全体の内容を要約してくれた。
- 開かれた質問を、閉じた質問より多く用いた。

5. SV の手順

- 事例の課題が明確になった。
- 自分の支援の課題が明確になった。
- 面接の終了にあたって、あいさつされた。
- 最後に今後の支援についての不安や疑問がないかをきいてくれた。

| 話しやすいと感じた SVr の行動 | 改善するとよりよくなると感じた SVr の行動 |
|-------------------|-------------------------|
| | |

振り返りシート (SVr 役用)

演習を終えて、SVとしての自分の課題を振り返ってみましょう。

| テーマ | 良かった点 | 課題や改善点 |
|--|-------|--------|
| 1. 面接の基本姿勢 | | |
| 2. SVの態度と倫理 | | |
| 3. 手順1 導入：SVの枠組みを示し、 CMとの関係を作る | | |
| 4. 手順2 質問による情報の聞き取り： 事例とCMの見方の把握 | | |
| 5. 手順3 事例の課題に対するCM側の 持つ課題への気づきを促す：CM 自身が自分の課題を見つける | | |
| 6. 手順4 CMの課題の気づきに応じた 解決策の立案：CM・事例の課題 を解決する具体的な方法を見つけ る | | |
| 7. 手順5 全体の要約と確認→はげま し 手順6 終了のあいさつと次回SV の確認 | | |
| 8. 避けるべき行動・態度 | | |